

(1) 名古屋市新廳舎鳥瞰寫真。

## 名古屋市廳舎建築概要

名古屋市土木部長 花井又太郎

### 沿革

本市廳舎は今上陛下登極大典紀念事業として昭和三年十一月十日初めて市會に提案即ち可決せられ、昭和六年三月二十六日市會に於て實行豫算の決定を見たるものなり。

### 建築概要

位置 名古屋市西區南外堀町六丁目一番地の三七。

敷地面積 20,757.32 平方メートル (6,279坪08)

建築面積 4,496.49 平方メートル (1,360坪18)

延面積 24,404.30 平方メートル (7,382坪30)

建築費 2,600,000圓

工程 昭和六年十一月三日地鎮祭、昭和六年十一月八日起工、昭和八年五月八日定礎式

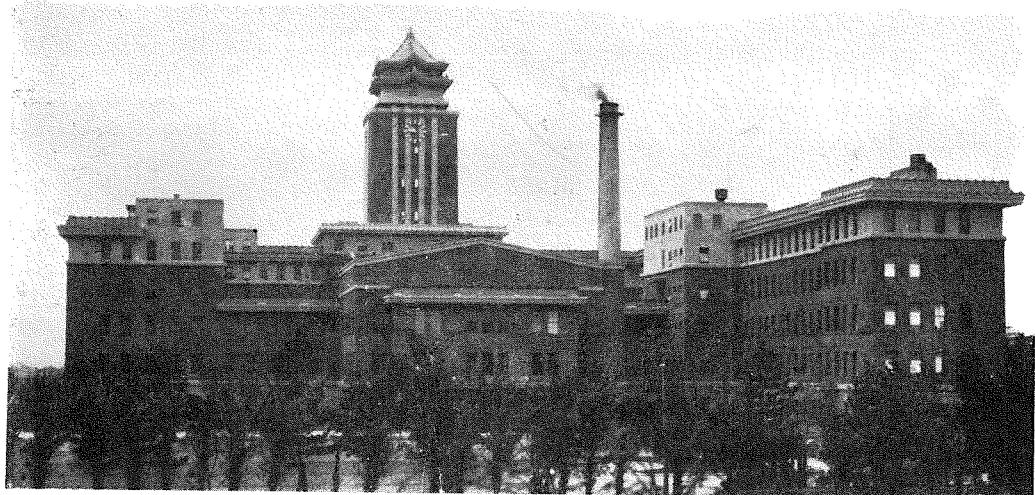
昭和八年九月六日竣工。

様式 日本趣味を基調としたる近世式。

構造 構造は鐵骨筋コンクリートの耐震耐火構造にして地階共六階建、一部四階建、塔屋地階共十一階建とす。地形は地質よく地盤線より 6 米 68 堀下け割栗地形を施した上鐵骨筋コンクリートの基礎を造り、塔屋下部は總延基礎とす。

間口は正面 81 米 70、側面 102 米 30、軒高地盤面よりバラベット上端まで 23 米 60、地盤面より正廳バラベット上端まで 27 米 60、塔屋尖端まで 53 米 50、階高は各階床まで 4 米一階は 4 米 6 とす。

各階配置 各階に階段室 5 ケ所、乗用昇降機 4 ケ所、料理用リフト 1 ケ所、湯呑場 3 ケ所、洗面並便所 2 ケ所、メールシュート 1

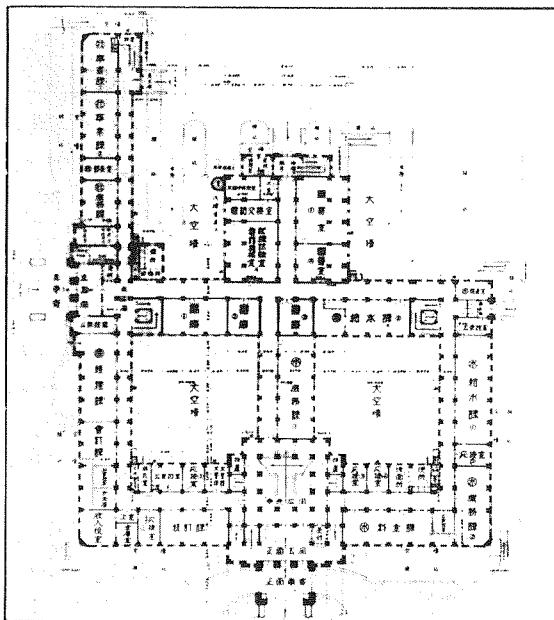


(2) 名古屋市新廳舍背面全景。

ケ所、ダストシート4ヶ所を設く。

**地階** 4,505.92 平方米・第一食堂、同調理室  
配膳室食品庫、賣店、各機械室、同係員室、  
小便室、守衛室、宿直室、人夫詰所、浴室、  
下足室、火夫室、石炭庫、灰置場、倉庫等。  
**一階** 4,496.40 平方米・正面並北車寄、同玄

(3) 名古屋市新廳舍一階平面圖。



關、廣間、收入役室、庶務部一部、社會部、  
水道部一部、各公衆控室、會計課、文書課  
文書係、調查課統計係、市金庫室、郵便局、  
圖書室書庫、電話機械室、交換室、交換手  
休憩室等。

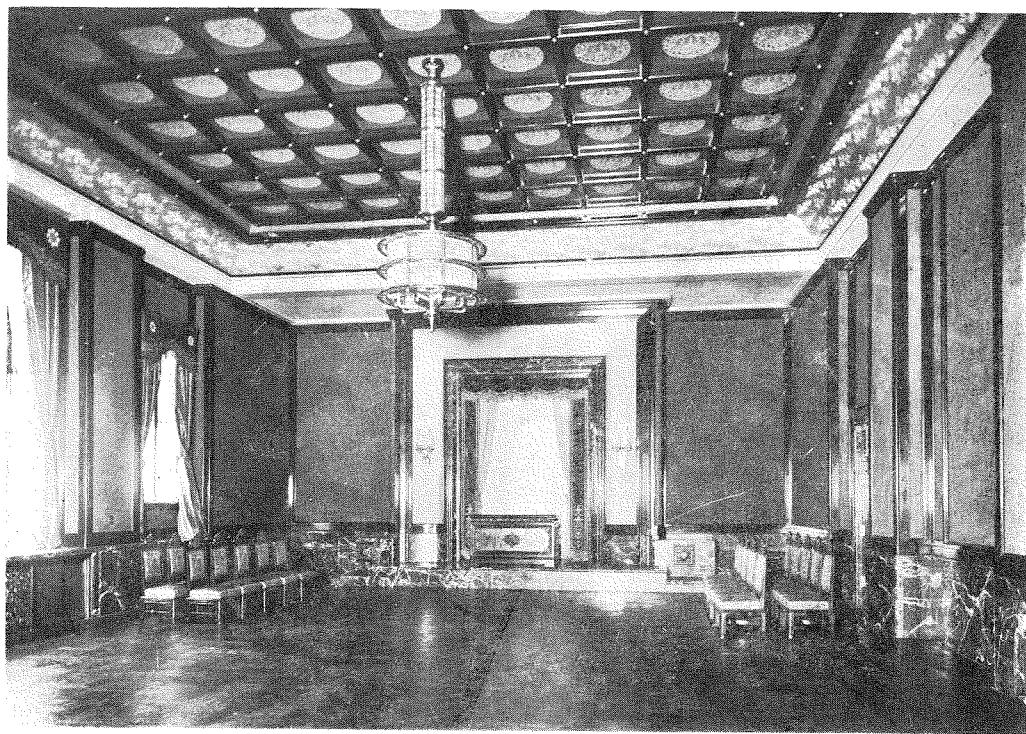
**二階** 4,187.15 平方米・議事堂、議長室及同  
副室、副議長室、同應接室、議員控室、  
議員談話室、同應接室、第一會議室、第  
一委員會室、理事者控室、市會書記長室、  
市會事務局、水道部一部、產業部、市農  
會、勸業協會、體育協會、青年團、青年  
商工實務研究會等。

**三階** 4,064.92 平方米・市長公室同附屬室、  
市長事務室同應接室、各助役室、同應接  
室、議事堂傍聽席、同守衛控室、參事會  
室、第二及第三委員會室、第二會議室、  
新聞記者室、第二食堂、文書課、庶務部  
一部、教育部、教育會等。

**四階** 2,949.64 平方米・貴賓室同附屬室、  
第三會議室、電氣局長、室電氣局一部、  
保健部等。

**五階** 2,893.20 平方米・正廳、御眞影奉安  
庫、土木部、電氣局一部等。

**屋階** 837.19 平方米・昇降機々械室、青寫  
真室、暗室、水槽等。



(4) 名古屋市新廳舍正廳。

**塔屋**には豫備室、時計室、展望室、時報機室等を配置す。

外部仕上 外壁は地階床より二階窓下まで四國産ヒシヤ石張り、上部五階窓下までチョコレート色筋入タイル張り、五階壁はクリーム色タイル張りとし、五階軒蛇腹及軒飾りはテラカツタ張、裏側はヒシヤ石の代りに同碎石入富國石張りとす。

車寄は床車廻し共に鑄花崗石張りとし壁柱はヒシヤ石張り、軒飾りはテラカツタ張りとす。

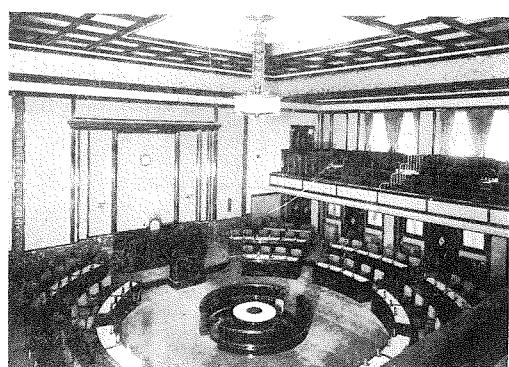
正面は四階まで柱形窓間小壁共ヒシヤ石張り、五階の部分は彫刻付同色富國石張りとしその上小壁の部及軒蛇腹はテラカツタ張り仕上げとす。塔屋は壁タイル張り、柱形テラカツタ張り、上部軒妻及軒飾り鰐はテラカツタ張りとし屋根は銅板張りとし尖端に四方睨みの鰐を上ぐ。屋上はすべて陸屋根タリンカータイル張とし遊歩に適せし

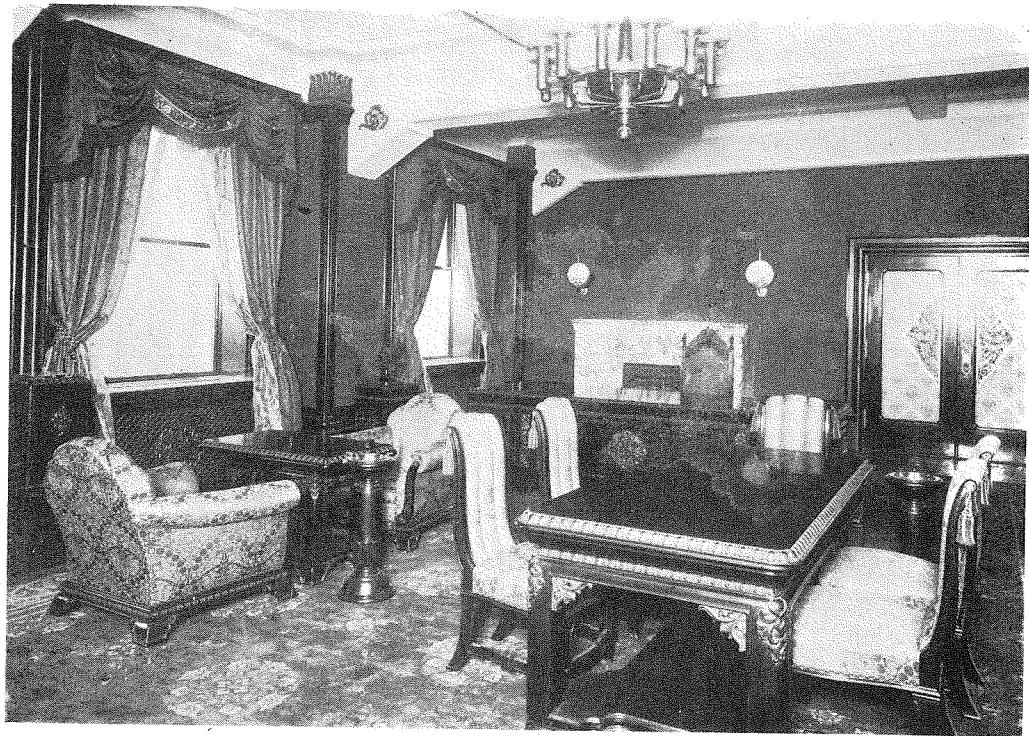
む。又敷地内建物周囲の通路はシートアスファルト鋪装を行ひ、空地は芝生に縁樹を植込む。

内部仕上

**正面玄關**・床鑄花崗石張り上り段大理石張り上部床モザイック大理石張りし壁ヒシヤ石張り天井ブランスター塗りの上ペンキ塗り仕

(5) 名古屋市新廳舍市會議場。





(6) 名古屋市新廳舎 貴賓室。

上けとす、北玄關も同一仕上げとす。

**中央廣間階段**・大廣間一階は床壁共に國產大理石張りとし二階以上は床タイル張壁大理石碎石入り凝石張りとす、大階段は手摺グリル、金物入大理石張り踏面二階まで大理石二階以上布目紬掛タイル張りとし天井プラスターベンキ塗仕上とす。

北及南階段室は腰凝石張り床もザイツクタイル張りとす。

**廊下**・一階床腰高1米50まで7.5瓣角タイル張二階以上床モザイツクタイル張腰人造石研出しとし柱出隅入隅は眞鎧製角金入りとし壁及天井はプラスター塗りとす。

**一般事務室**・床茶色リノリウム敷き壁天井プラスター塗りとし巾木及二條の木製長押を廻し建具共ベンキ塗り仕上腰壁はストンコート塗とす。

**正廳**・床寄木張り腰及御真影奉掲所額縁等大理石張り壁はコルク吹付ベンキ塗り天井

は格天井とし鏡板は織模様布地張りとす。木部は貴賓室議事堂市長室と共にシャム産チーク材を使用す。

**貴賓室**・床寄木張の上縫綻敷き壁及天井はコルク吹付けベンキ塗りとす。

暖爐及ラジエーターケースは大理石張り仕上とす。

左右副室も同一仕上とし別に化粧室を附屬し壁床共に山茶窯製タイル張とす。

**市長公室**・床寄木張の上縫綻敷き壁はコルク吹付けベンキ塗りとし天井はプラスター及淺野コート塗りとす、副室應接室共同一仕上とす。

**市長事務室**・床ウッドブロック張りの上縫綻敷き壁コルク吹付けベンキ塗り天井プラスチック塗りベンキ仕上とす木部は助役室議長室等と共にラワン材を使用せり。

**助役室**・市長事務室と同一仕上げとす。

**其他幹部室**・收入役室、電氣局長室は床リフ



(7) 名古屋市新廳舎市會議長室。

リウム敷きとし其他は助役室と同一仕上、各部長室は床リノリウム敷き壁及天井は「カセインテックス」塗り仕上げとす。

**第一會議室**・床寄木張りの上縫通敷き壁布地張り天井プラスター及浅野コート塗りベンキ塗り仕上げとす、木部は參事會室と共に檜材を用ふ。

**第二會議室**・床ウッドブロック張り壁浅野コート塗り天井プラスター塗りの上ベンキ塗り仕上げとす。

**議事堂**・正面に議長席演臺を中心には速記席を設け之を中心として議席を圓形に配列し室の左右に廊下を取り上階は傍聴席、特別傍聴席、新聞記者席を設く、議場床はコルク板敷の上縫通敷き壁は布地張り及コルク吹付けベンキ塗り仕上とし天井は格天井とし鏡板は描模様カンバス張りとす傍聴席床はウッドブロック敷き壁はコルク吹付けベンキ塗り仕上げとす。

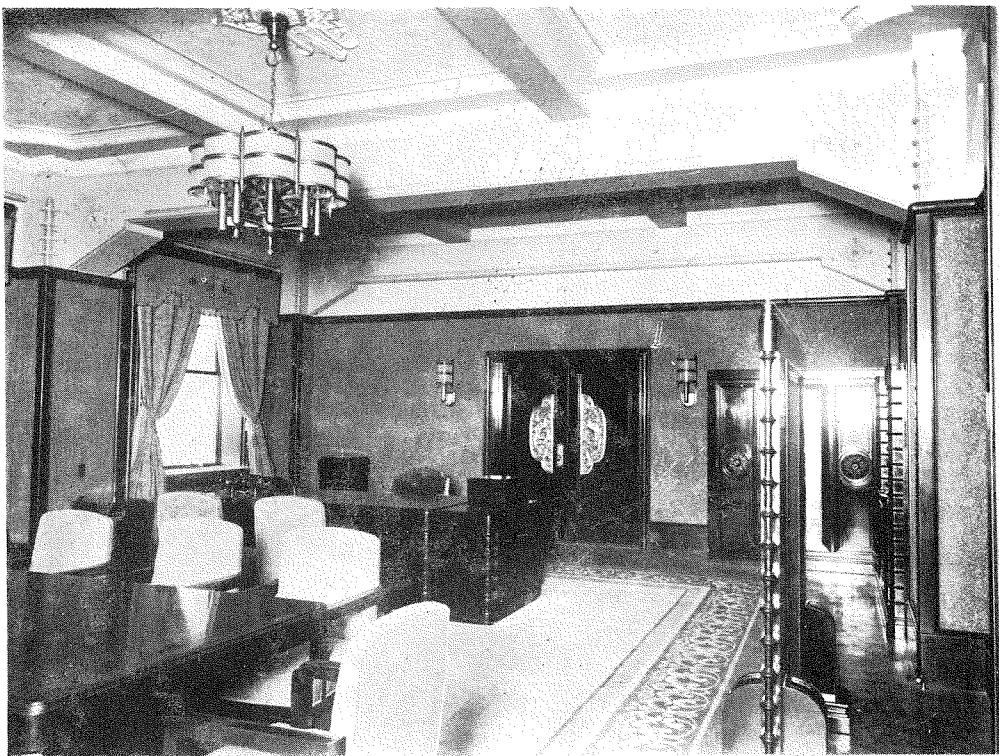
**議長室副議長室**・床寄木張りの上縫通敷き腰  
プラスター粗面塗り壁プラスター塗り天井  
は浅野コート塗りとし何れもベンキ塗り仕  
上げとす。

**參事會室**・床ウッドブロック張り腰羽目付  
とし壁はコルク吹付けベンキ塗り仕上げ天井  
はプラスター塗りの上ベンキ塗り仕上げとす。

**議員控室**・床ウッドブロック張り壁は壁紙  
張り仕上天井はプラスター塗りの上ベンキ塗  
り仕上げとす。

**議員談話室**、各委員會室も殆んど同一の仕上とす。

**第二食堂**・床ウッドブロック張り壁は檜材  
腰羽目張りとし小壁は壁紙張り、天井はプ  
ラスター塗りの上ベンキ塗り仕上げとす。  
**市役所内郵便局**・郵便局は北玄關脇に設置さ  
れ一般郵便事務を取扱ひ公衆出入口は玄關  
土間より通ず公衆控室は床腰タイル張りと



(8) 名古屋市新廳舍市長室。  
し事務室と同一仕上とす。

地階・地階廊下は中庭床共床はソリデジツ  
トモルタル塗りとし腰はモルタル塗、壁天  
井はプラスチック塗りとす。

倉庫も廊下と同一仕上げとす。

地階第一食堂は床七種五角タイル張り腰は  
横縞釉掛タイル張り壁及天井はプラスチック  
塗りとす。

汽罐室艸筒室は床腰共にタイル張とし天井  
壁はプラスチック塗りとす。

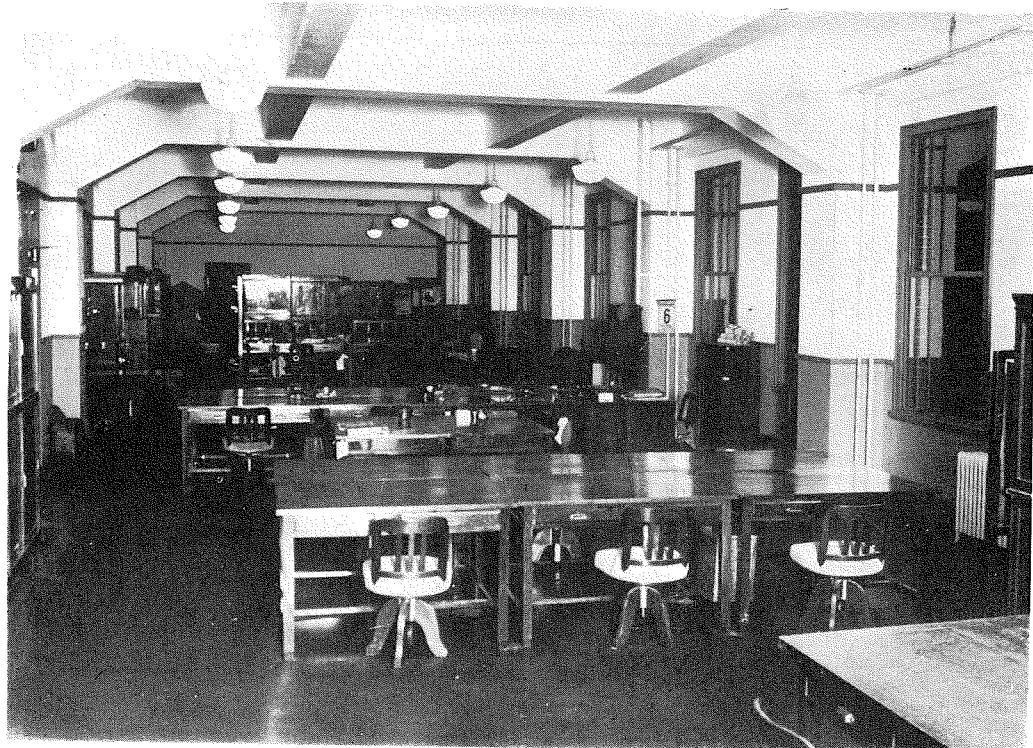
#### 諸設備

**焼房設備**。本設備は真空式二管低壓蒸氣燒  
房裝置にして標準室溫を華氏66度とす、地  
階汽罐室にレーチング11,000平方呎を有する  
汽罐三臺及同數の自働石炭燃燒機を備へ  
發熱蒸氣は12吋管にてスチームヘッターに  
導き之より六個の配管系に分ちて各階放熱  
器に給氣し還水は真空艸筒により汽罐に強  
制復歸せしむ。

**電燈及電力設備**。地階變電室に33,300ボル  
ト二回線を引込み總容量480キロ八個の變  
壓器（内二個豫備）により夫々動力用電燈  
用其他に供給す、常用線停電の際は豫備線  
に自動切換を行ひ常用線回歸すれば自動的  
に復歸せしむる設備とす、屋上には塔屋照  
明用溢光燈の設備をなす。

**電話設備**。地階に蓄電池室及充電室を一階  
に電話機械室及交換室を設く、本設備は自  
働交換式にして一般電話、廳舍内專用電話  
電氣局專用電話、水道部專用電話に分ち局  
線は容量90回路實裝45回路にして私設線電  
話機は局線に接續し得るもの容量400個實  
裝200個接續し得ざるもの容量200個實裝  
130個とす。

**電鈴設備**。廳内應答付呼出電鈴77個及市會  
關係用13個にて廳内呼出應答のものは、イ  
市長及助役より各部長に又各部長より所屬  
各課長に通ずるもの、ロ市會事務局關係の



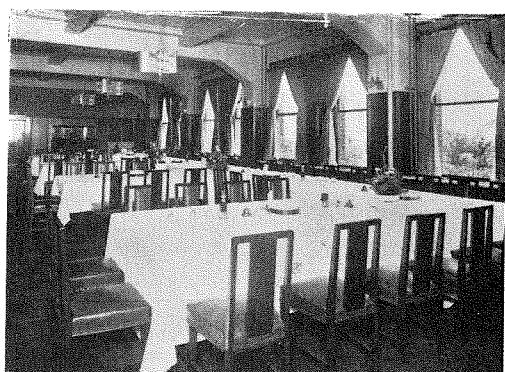
(9) 名古屋市新廳舎事務室の、ハ宿直室小使室關係のものとに分れ電源は蓄電池とす。

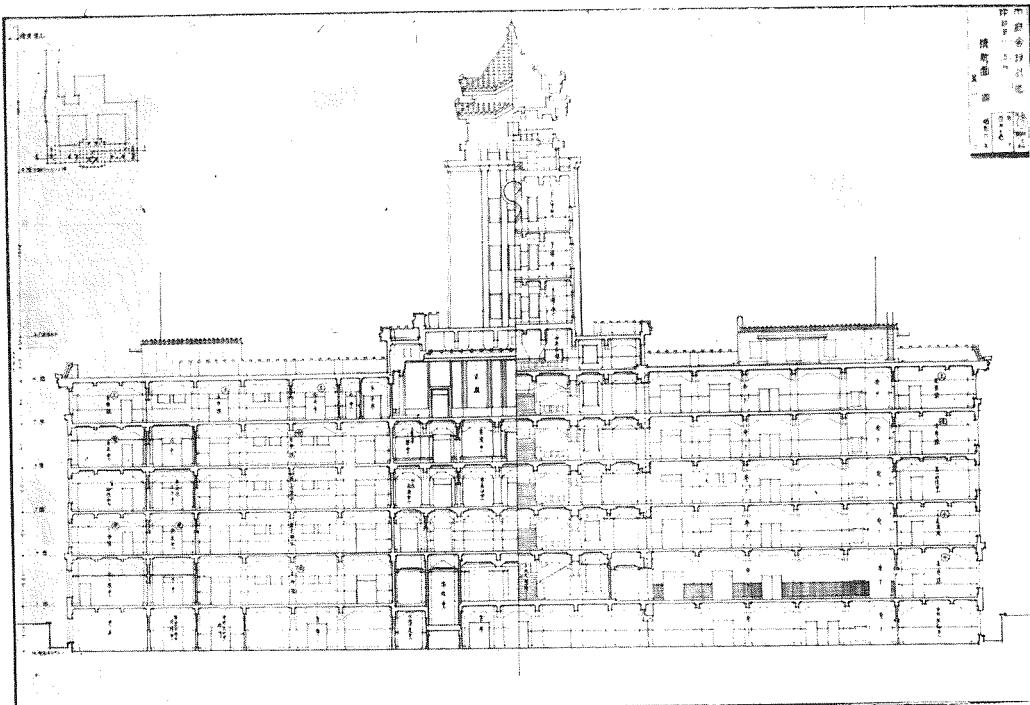
**電氣時計**・親時計一個 同豫備一個子時計148個及塔屋用大時計4個より成り大時計は直徑約3米にして電源は蓄電池を用ふ。  
**時報設備**・時報機は塔屋最上層に置き名古屋中央電話局より遞信省正午の通報を受け遞信省甲種繼電器を動作せしめ時報装置によりモーターサイレンを自動起動せしめ正午通報と同時に鳴動を自動的に停止せしむ  
**防火設備**・消火栓サイヤミーズコンネクション及火災報知機の三種とし消火栓は屋内に徑2吋のもの23個を置き消火栓を開く時は自働的に消火ポンプの活動を開始すると共に自動警報装置により地階電氣係員室に警報せられ同所に設置せる火災報知機により直接消防署に通報する装置とす、別に三ヶ所のサイヤミーズコンネクションを設け消防の援助に便ならしむ。

尙本建物は總て鐵製建具を用ひ各階五ヶ所の防火扉を設備し火災よりの絶體安全を期せり。

**給水及衛生設備**・地階廊筒室に2,300ガロンを入れササクションタンクを置き市水道本管より5吋主管を以て給水し二系の揚水廊筒を以て屋上二ヶ所の配水槽に揚水し之

(10) 名古屋市新廳舎食堂。





(11) 名古屋市新廳舎横断圖。

より各所に給水す。

給湯は飲用及雑用の二種とし地階に汽罐を設け各所に蒸気管を配し飲用は其局所に雑用は地階にストレーディセーターを設け給湯す。

排水は雨水と汚水の二系に分ちて何れも市下水管に放流す。

昇降機・乗客用積載量 1,200 石のもの二臺 1,000 石のもの二臺とし最大速力毎分91米とし「バリアブルボルテーディングダクター」自働着床及電動扉自動開閉装置を附す、料理用のものは積載量90石のもの一臺速力毎分30米とす。

瓦斯設備・食堂調理用、浴場小使室用とし引込を二系に分つ。

設計並監督　名古屋市土木部建築課  
主要工事請負者

建築主體並内外仕上工事　大倉土木株式會社  
煤房換氣設備工事　同(施工者須賀商會)

衛生設備工事　同(施工者須賀商會)  
強電流設備工事　同(施工者大阪電氣商會)  
弱電流設備工事　同(施工者日本電氣株式會社)  
電力昇降機設備工事　日本エレベーター株式會社  
瓦斯設備工事　東邦瓦斯株式會社  
水道布設工事　本市水道部

—(終)—

(12) 名古屋市新廳舎正面。

